

『核医学技術』投稿規程・投稿の手引き

【投稿規程】

1. 目的

この規程は、日本核医学技術学会学会誌「核医学技術」の投稿方法および掲載基準を定める。

2. 投稿資格

本誌への投稿筆頭者は寄稿、特別企画を除き「日本核医学技術学会会員」とする。

3. 投稿内容

1) 投稿原稿は核医学技術に関連あるもので、「原著、速報、技術報告、臨床応用、短報」などの学術論文のほか、「資料、解説、フォトピーク、報告文、紀行文、印象記、論文紹介、編集者への手紙」などと、編集委員会から執筆を依頼する「寄稿、特別企画」である。

2) 掲載区分は別表に定める基準によるものとする。また、「原著、速報、技術報告、臨床応用」は査読の対象となる。その他の掲載区分については、編集委員会にて審査する。

4. 投稿方法

1) 原稿は、表紙（学会誌添付）・本文・引用文献・図表および図表の説明文（原著は必ず英文および和文）の順にまとめる。

2) Summaryの有無および原稿の長さは区分別に別表に従うこと。

3) 原稿は、原著論文については正1部・副3部の合計4部、速報、技術報告および臨床応用については正1部・副2部の合計3部、その他の掲載区分については正1部・副1部の合計2部とする。ただし、副については写真以外はコピーでよい。

5. 論文執筆上の注意

1) 本文

(1) 本文は和文または英文とし、ワープロ原稿(20字x20行)を原則とする。ワープロ原稿の場合は掲載区分に関係なく、必ず論文名と投稿者名および機種・ソフトウェアを明記したフロッピー ディスクを添付すること。

(2) 手書き原稿の場合は一般市販の横書き原稿用紙 (B5版20字x20行) を用い、字形明確な楷書体で書くこと。また、英文の場合は活字体

で記載すること。

(3) 学会誌（毎巻第1号および第4号）に添付してある投稿表紙に従い、希望掲載区分・希望別刷部数・表題・原稿の長さ・著者名・施設名・keyword・本論文の新規性や価値を記載すること。なお、表題・著者名・施設名は英文も必ず記載すること。

(4) keywordは論文の内容を示す簡潔な英単語5語以内とする。

(5) 原著についての英文Summaryは200語以内とすること。

(6) 原稿にはページ数および5行間隔に行数を記入し、図表の組込み希望場所を欄外右横に付記すること。

(7) 投稿原稿の表紙およびSummaryなどは規定の原稿枚数として算定する。

2) 図表

(1) 図表は白紙に黒インキでトレースし作成するか、ワープロやパソコンの図表作成ソフトを使用する。後者の場合は、できるだけ高密度出力のプリンターを用いること。なお、仕上りが不鮮明になることが予測される場合は、再提出を求めることがある。

(2) 写真は原則として白黒写真とし、大きさはキャビネ版（はがき）程度が望ましい。また、カラー写真の場合は掲載料を著者負担とする。

(3) 図表・写真は1枚で原稿用紙1枚に換算する。

(4) 図・写真および表は本文と離して別とし、Fig.1および Table 1のように通し番号をつけて、タイトルと必要な説明文を付け加える。

(5) 原著論文の図表・写真は、タイトルとその説明文を英文とすること。

3) 文献

(1) 引用文献の書き方は次の形式による。

[雑誌]

番号) 著者名: 表題・誌名, 巻数 (号数): 頁

数，西暦年次

[著書]

番号) 著者名: 書名. 版数: 頁数, 発行所名,
西暦年次

(2) 引用文献での著者名は, 3名まで記載し,
以下は和文雑誌にあっては"他", 欧文雑誌は
"et al."とする。

(和文例)

1) 白川誠士, 藤田 透, 矢野慎輔, 他: 3検出
器型SPECT装置による心筋SPECT収集法の検討.
核医学技術, 15(1): 10-13, 1995

(英文例)

1) Kemp BJ, Prato FS, Nicholson RL, et al:
Transmission computed tomography imaging
of the head with a SPECT system and a col-
limated line source. J Nucl Med, 36(2): 3
33, 1995

6. 原稿の受付および審査

1) 投稿原稿の採否および掲載区分は, 編集委員
会が審査の上決定する。

2) 投稿原稿は査読者の判定結果をもとに編集
委員会で審査後, 投稿者に返却し訂正を求める
ことがある。

3) 受理された原稿は, 編集委員会からの訂正指
示や承諾なしで, 追加や訂正することは認めな
い。

4) 訂正原稿は, 編集委員会より返送された日か
ら30日以内に再提出するものとし, この期間を
過ぎた場合は新たな投稿扱いとして処理する。

7. 校正

1) ゲラ原稿の初回校正は著者校正とする。校正
はゲラ原稿到着後3日以内に行い, 書留速達便に
て返送すること。

2) 原稿になかった部分の図表訂正は認めない。

3) 期限に遅れた場合は, 編集委員会の校正およ

び判断で処理する。

8. 料 金

1) 寄稿・特別企画を除き, 別表に定めた規定の
刷上がりページを超えたものは, 超過ページ数
を有料とする。

2) フォトピークについては, 1 / 2 ページまで
無料, それを超えたものは1 / 2 ページあたり1
万円とする。

3) 別刷りは学术论文および資料・解説のみ30
部まで無料, それを超えた部数は有料とする。
また, 寄稿・特別企画 は20部まで無料, それを
超えた部数は有料とする。

4) 至急掲載希望原稿については別途特別掲載料
を申し受ける。

5) トレース代, カラー印刷代は有料とする。

9. 著作権

「核医学技術」に投稿・寄稿された論文・報告
等に関して, 掲載後の著作権は日本核医学技術学
会に帰属する。

10. 送り先

原稿には投稿者の住所氏名を書いた宛名ラベ
ル3枚を添えて, 封筒の表に「原稿在中」と朱書き
し, 書留で学会事務局宛送付のこと。

11. 改訂

この規程は理事会の1 / 2以上の議決により
改訂できる。

改訂: 昭和57年12月25日, 昭和61年 6月10日,
平成元年 2月19日, 平成 2年 7月14日,
平成 4年 5月10日, 平成 5年 1月24日,
平成 8年 2月10日, 平成 9年 6月21日,
平成13年 2月24日, 平成14年 2月8日,
平成14年 6月28日

別表

掲載区分	基準	刷り上り最大ページ数	20x20の原稿用紙枚数	英文 Summary	図表の英文説明	Key word	表題,著者名,施設名の英文
原著	核医学に関する独創性のある結論の明確な論文で他の出版物に未発表のもの。	8	36	要	要	要	要
速報	新しい発見や独創的な研究で,早急に掲載する必要があるもの。	4	18	-	-	要	要
技術報告	装置,製品,試薬などに対する新しい試み,経験,応用をまとめた実用価値のあるもの。	6	27	-	-	要	要
臨床応用	核医学技術をベースに臨床に応用した実用価値のあるもの。	6	27	-	-	要	要
短報	総会学術大会や地方会にて発表後,手短にまとめたもの。	4	18	-	-	要	要
資料・解説	研究,技術,調査集計報告などに関する参考資料や解説となるもの。	8	36	-	-	要	要
フォトピクチャー	新しい機器・試薬の紹介,核医学関連のホットニュース,意見・提案,工夫・アイデア,その他核医学に関連するもの。	1/2	2	-	-	-	要
その他	報告文,紀行文,印象記,論文紹介,編集者への手紙および掲載論文に対する誌上討論や追加分など。	2	8	-	-	-	要
寄稿・特別企画	核医学技術に関して価値ある内容であると編集委員会が判断し依頼したもの。	8	36	-	-	要	要